

M a n n o T o w n
第2次まんのう町総合計画
〔概要版〕

「元気まんまん まんのう町」
～水と緑がひとを育み支えあうまち～

私たちのまんのう町は豊かな自然、貴重な歴史遺産、地域の絆など魅力にあふれています。
将来、もっとまんのう町が好きになり、この町に住んでよかったと誇りや愛着を持てるよう
「みんなで創るまちづくり」に挑戦していきましょう。



まんのう町

第2次まんのう町総合計画（概要版）

発行：香川県まんのう町

編集：まんのう町企画観光課

〒766-8503

香川県仲多度郡まんのう町吉野下430番地

TEL:0877-73-0106

FAX:0877-73-0112

総合計画に関する詳細は、

まんのう町ホームページをご覧ください。

<https://www.town.manno.lg.jp/>

〔令和2年3月〕

まんのう町

総合計画とは…

まんのう町が“将来どのような町を目指していくのか”、その道しるべを住民のみなさんと共有するために「福祉」「産業」「環境」「観光」などまちづくりに関するすべての取り組みをまとめたものです。

“まんのう町をどんなまちにしたいか” “そのためには何が必要か” など住民のみなさんの意見をアンケートや住民ワークショップなどで聞き、それらを参考に計画を策定しました。



計画策定の目的

本町は、平成18年3月に琴南町、満濃町、仲南町が合併してまんのう町となり、ひまわり等の6次産業化(*)の取り組みや、住宅取得等に伴う若者の流入、こども園化や満濃中学校・図書館・スポーツセンター開設による教育の充実など、「第1次まんのう町総合計画」に基づくまちづくりを進め、発展してきました。

一方、我が国では令和11年に人口が1億2000万人を割り込み、その後、毎年50～100万人ずつ生産年齢人口が減り続けると推計されています。大都市への人口集中も避けられず、今後は、人口減少を前提としつつ、社会資本を適正な規模に再構築していくとともに、住民が地域で安心して暮らし続けられる自治力の強化を図っていくことが大切な時代となっています。

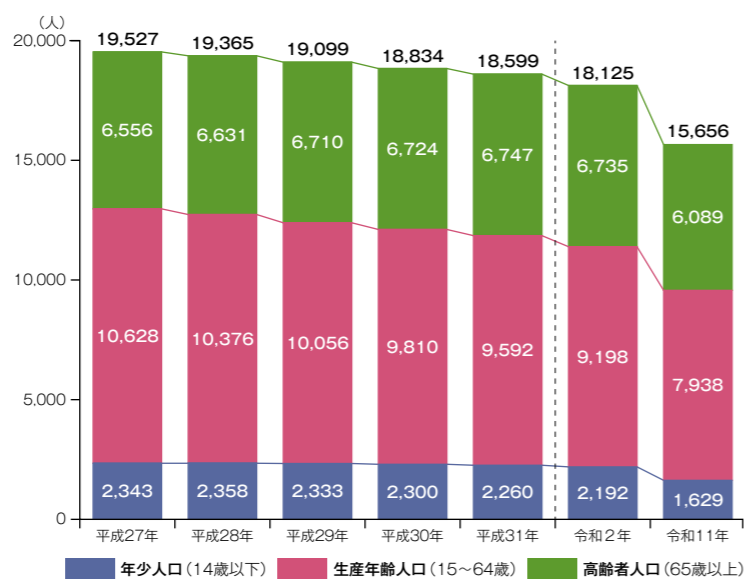
「第2次まんのう町総合計画」は、令和2年度から令和11年度までの本町のまちづくりの最上位計画として、人口減少時代の適正な自治体運営、自治力強化をめざし、町の将来像と施策の方向を掲げます。



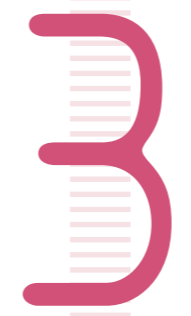
まんのう町の人口の推移と推計

本町の人口は減少基調で推移しており、過去5年の推移をみると、琴南地区で約16%、満濃地区で約3%、仲南地区で約8%の減少となっており、とりわけ、南部の中山間地域の定住対策が課題です。

人口は、このままの傾向で推移すると、本計画の目標年度である令和11年には15,000人台に減少し、横ばい傾向で推移してきた年少人口(0～14歳人口)も10年間で500人以上減少すると推測されます。



(※) 6次産業化…第1次産業×第2次産業×第3次産業という考え方で、生産者が第2次、第3次産業にも取り組み活性化させ、農山村の経済を豊かにしていこうとするもの。

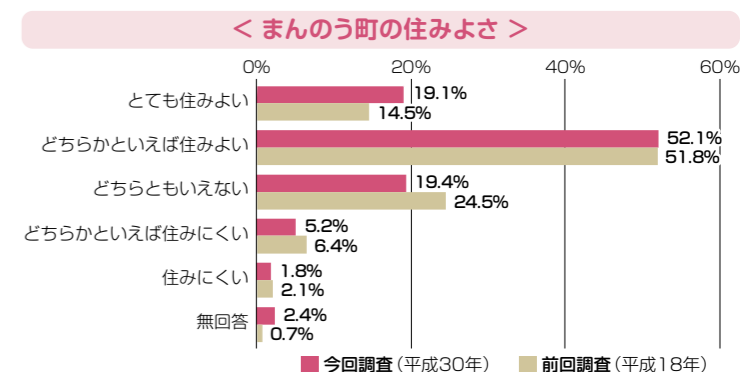


住民ニーズ

本計画の策定にあたり、平成30年11月に住民アンケート調査(回収率43.4%)を実施しました。平成18年に実施した同様のアンケート(回収率45.0%)と比較し、結果を紹介します。

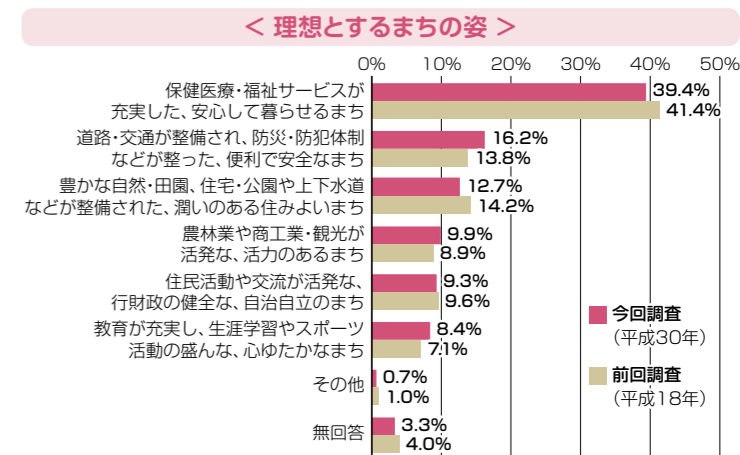
(1)「住みよい」と思う割合は上昇している

本町の住みよさを5段階の評定尺度でたずねたところ、「住みよい」が7割、「どちらともいえない」が2割で、「住みにくい」が約7%という結果でした。平成18年の調査より「住みよい」の割合がやや上昇しています。



(2)「理想とするまちの姿」は「安心して暮らせるまち」

「理想とする将来のまちの姿」を6択でたずねたところ、「保健医療・福祉サービスが充実した、安心して暮らせるまち」が約4割で最も多く、「道路・交通が整備され、防災・防犯体制などが整った、便利で安全なまち」が約16%で最も多く、「道路・交通が整備され、防災・防犯体制などが整った、便利で安全なまち」、「豊かな自然・田園、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよいまち」が約13%で最も多く、「豊かな自然・田園、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよいまち」、「農林業や商工業・観光が活発な、活力のあるまち」が約13%で最も多く、「豊かな自然・田園、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよいまち」が続いています。これらは、平成18年の調査でも同様の傾向であり、安心して暮らせるまちづくりを今後も重視していくことが求められていると言えます。



まんのう町の発展課題

(1) 人口減少時代への対応

人口減少や少子高齢化を抑制・緩和するために、まち・ひと・しごと創生への取り組みや高齢者の生きがい活動を地域活性化につなげる取り組みを継続的に進める必要があります。

(2) 自然・歴史遺産の保全と活用

本町の特徴である「里地里山」の豊かな景観や生態系、名勝「満濃池」を始めとする歴史遺産の保全を行うとともに、これらをまちづくりにも有効活用することが求められています。

(3) “しごと”の創生・拡大

経済・情報の格差縮小に寄与する優良企業の誘致を推進していくことに加え、地元の高品質産品やサービスに二次加工やブランドイメージの付加による「6次産業化」を組み合わせながら、継続的に“しごと”の創生・拡大を図ることが求められています。

(4) 暮らしを支える公的基盤の確保

町民がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために、これまでに実施してきたデマンドタクシーの運行、移動販売への支援、公共施設の長寿命化など生活基盤の確保を今後も図っていく必要があります。

(5) 健全な行財政運営の推進

令和3年度に地方交付税の特例措置がなくなることを踏まえ、これまで以上に健全な財政運営に努める必要があります。

5

まちづくりの基本理念

「基本理念」とは、物事を皆で進める上で、共通認識として共に抱く考え方のことです。

本町では、令和11年度までの10年間、「豊かな自然を活かし みんなで創るまち まんのう～地域のつながりを大切にするまちづくり～」を基本理念に、まちづくりを進めます。

温暖で晴天が多い気候、四季折々の草花や紅葉、生態系が保たれた生き物たち、ため池や香川用水の恩恵を受ける水環境など、豊かな自然に囲まれた私たちまんのう町民は、日々の暮らしやしごとの中で、この自然の恵みを活かしていきます。

また、地域で培われた絆を大切に、住民一人ひとりがまちづくりの様々な活動に参画し、住民と行政が協働で地域課題の解決を図る、「みんなで創るまちづくり」を進めます。

令和の時代を迎え、すでにある活動を礎に、新たなまちづくりにみんなで挑戦していきます。

“まちづくりの基本理念”

豊かな自然を活かし みんなで創るまち まんのう

～地域のつながりを大切にするまちづくり～



6

まちの将来像

「将来像」とは、本計画を推進することにより到達をめざす「理想のまちの姿」です。

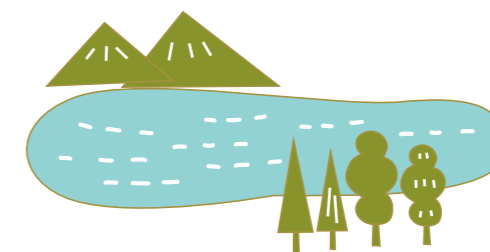
第2次総合計画では、令和11年度に到達するまちの将来像を「元気まんまん まんのう町 ～水と緑がひとを育み支えあうまち～」と定めます。

まんのうの水と緑により新しい人材や地域産業が育ち、社会や経済を力強く支え、人口減少の抑制、住民1人ひとりの活力の向上、地域の自治力の向上につながる「元気まんまん」のまちをめざしていきます。

“まちの将来像”

元気まんまん まんのう町

～水と緑がひとを育み支えあうまち～



3つの基本目標

3つの基本目標の下に、6つの政策目標と、18の施策分野を以下の通り位置づけます。

基本目標 1

〔自ら学び・支えあうまち〕

子どもから高齢者まで、町民一人ひとりが、新たな知恵・知識を主体的に体得し、スポーツや芸術を楽しみ、お互いに支えあい、心から笑顔輝かせるまちづくりを進めます。また、一人ひとりが多様性を認め合い、人権が尊重されるまちづくりを進めます。

これらを通じて、「自ら学び・支えあうまち」の実現をめざします。

政策目標1 みんながいきいきと支えあって暮らせる（福祉・保健・医療）

- ① つながり、寄り添う福祉の推進（地域福祉）
- ② 生涯現役と安心介護のまちづくり（高齢者支援）
- ③ 自立と社会参加の実現（障害者（児）支援）
- ④ 予防重視の健康づくりの推進（保健・医療）

政策目標2 豊かな学びと生きがいを育む（教育・スポーツ）

- ① 地域ぐるみの子育ての推進（子ども・子育て支援）
- ② 一人ひとりの夢ひらく教育の推進（学校教育）
- ③ 人生を豊かにする生涯学習の推進（生涯学習・生涯スポーツ）

政策目標3 多様性を認め合う社会を築く（共生・交流）

- ① 認めあい、尊重するまちづくり（人権・平和）
- ② 多様な交流の推進（国際・地域間交流）

基本目標 2

〔農林商工・観光が息づくまち〕

確かな品質の農林産物、工業製品、各種のサービスを、創意・工夫して付加価値を高め、地域の観光資源を活用して多くの交流が育まれる「農林商工・観光が息づくまち」をめざします。また、農林商工・観光は、互いに連携・融合させ、6次産業として発展させていきます。

政策目標4 “しごと”を創出する（産業振興）

- ① 未来につなぐ農林業の振興（農業・林業）
- ② はつらつと働ける商工業の継承・発展（商業・工業）
- ③ 自然を生かした“まんのう観光”の活性化（観光）

基本目標 3

〔ゆったり暮らせるまち〕

讃岐山脈を眺める美しい田園空間で、家族や友人、近所の人々との時間を楽しみ、心の充足を感じることができる「ゆったり暮らせるまち」をめざします。

災害や事故、犯罪に対して、地域ぐるみの予防対策を進め、もしもの時にも安心して支えあえる地域力を維持・強化していきます。

政策目標5 快適な暮らしを支える（生活環境）

- ① 生活基盤の長寿命化・更新（生活基盤）
- ② うるおいある環境の保全と継承（環境保全）
- ③ 住み続けたい、移り住みたい環境の整備（移住・定住）
- ④ 生活安全対策の充実（防災・防犯・交通安全）

政策目標6 地域課題をみんなで解決する（地域運営）

- ① 支えあうコミュニティの活性化（コミュニティ）
- ② 協働による適正な行財政の運営（行財政運営）

